



発行 党 産 共 本 日  
春日部市委員会  
春日部市中央  
7-10-9  
電話 736-9933  
FAX 736-9991

# 17日投票の市議選で

## くらし・平和をまもる市政に

17日(日)、春日部市議会議員選挙が告示されます。

定数30に、38人(現職・前職23、新人15人)の有力者が立候補を表明し大激戦になる様相です。

政党別では、日本共産党6名、公明党6名、立憲民主党、日本維新の会、「NHK」党各1名、無所属25名です。党派別で、女性は7人です。

### 日本共産党 引き続き 6名の市議団確立を

党市議団6名は、市民のみなさんと力をあわせて、様々

な要求を実現し、次のように大きな成果をあげてきました。主な実績は次の通りです。

- ・ 公立保育所増設、児童発達支援センター建設
- ・ 子ども医療費通院15歳、入院18歳までの無料化
- ・ 市立医療センターの移転新築、コロナ病床29床
- ・ 学校教室にエアコン設置
- ・ 学校給食3人目以降無料に
- ・ コロナ対策、発熱外来など
- ・ 住宅リフォーム助成制度の実施。

これらは、6名の党市議団が、予算修正案や一般質問で

なんども取り上げてきたことが実現に結び付いています。

日本共産党は引き続き6名の市議団の確立を目指します。

### 住みよい市政のため

### 投票に行きましょう！

選挙は、民主主義の最も重要な権利です。前回の投票率は39・68% (有権者19万7565人、有効投票7万7364人)。投票に行きましょう。

### ◎日本共産党・基本政策

- ・ 学校給食費の完全無償化
- ・ 住宅リフォーム助成制度継続実施
- ・ 77歳にお祝い金1万円贈呈
- ・ 公民館使用料の無料化
- ・ 学校体育館にエアコン設置
- ・ 温水市民プール建設
- ・ 障害者入所施設設置
- ・ 18歳以下の子どもの国保税免除
- ・ 国保税ひとり1万円引き下げ
- ・ 介護保険料の引き下げ(第1〜5段階) 引き下げ

#### 財源はあります。

- ・ 一般会計繰越金は毎年20億円以上。基金(貯金)も50億円以上もあります。
- ・ 国保・介護会計も繰越金、基金がしっかりとあります。

### 期日前投票のご案内

4月11日(月)～16日(土)

- ・ 投票場所  
市役所別館5階 (8時30分～20時)  
ゆっく武里 (8時30分～17時15分)  
庄和総合支所1階 (8時30分～20時)
  - ・ 持ち物は入場券(免許証など)
- ※ 大切な選挙です。投票にいきましょう。



並木としえ議員一般質問

# 武里地域から 市役所などに春バスを



3月16日、並木としえ議員は3月定例市議会で①武里地域から市役所や医療センターに直接行ける春バスの運行 ②パートナーシップ制度を制定し、多様性を認め合う春日部に の2点について一般質問をおこないました。

## 住民の実態と願いに 寄り添った見直しを

市内で一番高齢化が進む武里団地を擁する武里地域には、春バスが通っていま

せん。武里駅とせんげん台駅に行く朝日バスが運行されていることから、交通手段が確保されているということですが、住民からは「武里地域にも春バスを」と強い要望があります。

電車はドアが開いている短い時間に一斉に乗り降りするため、高齢になると、電車の乗り降りが苦手になる方が少なくありません。

コミュニティバス発祥の武蔵野市では、駅から遠くなく路線バスも通っている地区の高齢者から「買い物に行けずに困っている」と手紙が届いたことから、買い物や通院の足を確保するために生まれたのがコミュニティバスでした。

並木としえ議員は「住民の実態と願いに寄り沿って、次期の春バス見直しの際には、武里地域から市役所や医療センターに直接行ける春バスを」と求めました。

市長は「そういった要望があることは認識しているが、限られた財源の中で、春バスは鉄道や路線バスの補完という役割を果たすことが重要」と答弁し、武里地域への春バスに否定的な見解を示しました。

## よりよい制度に なるよう検討

2000年9月議会で「パートナーシップ制度をはじめ性的マイノリティへの諸施策の充実を求める請願」が採択されました。1年半が経過し、パートナーシップ制度を導入する自治体は年々増加しています。

並木としえ議員は「同性カップルは家族として扱われないため不利益が生じている。多様性を認め、困難や不利益を受けることがないよう、春日部市においてもパートナーシップ制度の導入を」と求めました。

総務部長は「多様な性のあり方について理解が進んでいないことから、市としては、職員が理解を深め適切に対応するためのガイドラインを策定し、その実践と並行してパートナーシップ制度の導入を調査研究していきたい」と答弁。

市長は「同性カップルのパートナーとして認めてほしいという気持ちは尊重されるべき。パートナーシップ制度の導入は、よりよい制度となるよう検討を進めていきたい」と、導入する考えを明らかにしました。

休日の当番医

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

4/10(日) 南部厚生病院(内科系) 大場20-1 電話736-7511 安達医院(小児科系)

栄町3-287 電話761-6398 分産館医院(外科系) 備後西5-4-28 電話739-3883

4/17(日) かすかべ消化器内科(内科系) 谷原新田2177-1 電話796-0230 いぶきこどもクリニック

(小児科) 大枝309 電話735-0854 彩都レディース(外科系) 大枝366 電話731-1103